



神学生が来た！


 やまもと まこと
 山元 眞 神父

以前からうらやましいことがあった。福岡市近郊の小教区には大神学院から宣教司牧実習のために神学生が日曜日に来ていた。この教会は神学院からは

二時間あまりかかる。神学生に来てもらうことは無理だった。

四月一日に日本カトリック神学院が開校した。今までの福岡サン・スルピス大神学院と東京カトリック神学院が合併したのだ。そのおかげで福岡キャンパスからも神学生が遠隔地に派遣されるようになった。募集があったとき、迷わず申し込んだ。

福岡教区の今年の課題は「司

祭召命の促進」。この教会にも司祭職にあこがれる子どもたちが何人かいる。神学生が週末に来てくれれば召命が「促進」されると思っていた。

わたしの司祭への道……。その始まりは、教会付属の幼稚園に通っていたころ。今とは違って、帰宅前に園庭で遊ぶことができていた。ときどき、園長のフランス人の神父さんから「お遣い」を頼まれていた。教会の近くにあるたばこ屋さんに。国民のたばこしんせい？だったと思う。当時は園児にもたばこを売ってくれていたのだ！ いつも

おつりがくるようにお金をもらって、おつりを返すときに「お駄賃」をもらっていた。五円。「やさしいなあ……」「こんな人になりたい……」。これがわたしの司祭職との「ご縁」の始まり。「神父になりたい」という思いがずっと続いた。当たり前のように小神学校に入り、大神学校に進み、司祭に叙階された。途中で「べつに自分が神父にならなくても……」という思いが何度かあったが。

助祭で二十一人、福岡では神学科三年間で二十四人の神学生が養成を受けている。ざっと見ても小神学校からの養成を経ている神学生は四分の一。全国の教区や修道会から、また韓国やベトナム国籍の神学生もいる。成人洗礼を受け、社会生活を体験してきた神学生も多い。年齢も高い(何を基準に？)。

受難の主日の前日から宣教司牧実習が始まった。その前日、福岡キャンパスの開校ミサがあり、信者の方と一緒に参加した。その時、実習に来る神学生に会った。年齢が「いってる」……

自分としては、子どもたちのために「若い、お兄ちゃん神学生」であれば子どもたちも喜ぶだろうに……と勝手に想像していた。

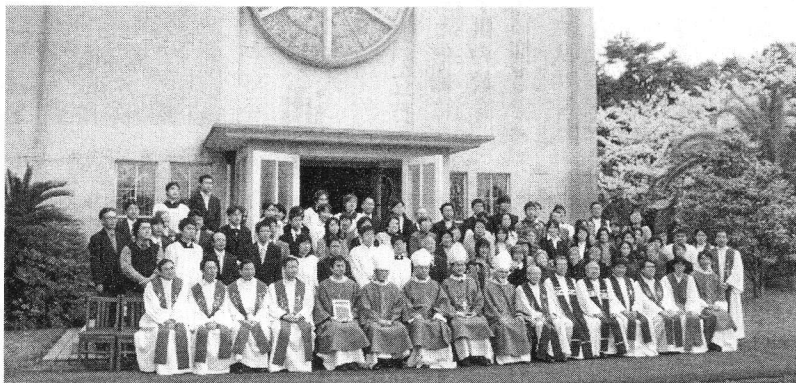
成人洗礼を受け、社会で働き、司祭への召命を感じて神学校に入った実習生……

神さまはいつも想像以上の恵みをくださる。「何か」が始まったことを感じた。わたしだけでなく、おそらく九州の方では「神学生」といえば、中高時代から養成を受けて来た学生を想像すると思う。でも今は、そのような神学生は少ない。「時のしるし」ではなからうか。いい感じで信者との交わり（子どもたちから高齢者の皆さんにいたるまで）が始まった。

受難の主日に以前から知っている青年が来た。司祭職への望みがあることをわたしに伝えに来たのだった。彼はわたしに会いに来たが、神は実習が始まったばかりの神学生に会わせなかった。

たのだろう。

九州では、かつていくつかあった小神学校も今では長崎だけになってしまった。わたしも小



日本カトリック神学院福岡キャンパス開校式の日

神学校で中高生の養成に携わったことがあるがいろんな意味で困難なことが多い。二十年前に

は百人を超す小神学生がいたようだが、今ではその一割ほどになってしまった。

「夢よう一度！」という希望がどこかにあるようだが、もっともつと養成のあり方を考えなければならぬと思う。時代は変わっている。だが、神はいつも呼びかけておられる。どのように呼びかけ、どのような司祭が求められているのかを「今の時代」の中で考えなければならぬと思う。

「時代」を的確に読まなければならぬ。日本カトリック神学院の現状の中に養成のあり方の多くのヒントがあると思う。この六月からは「司祭年」も始まる……

【教会ホームページ】

[http://www.](http://www.yukuhasi.catholic.ne.jp/)

[yukuhasi.catholic.ne.jp/](http://www.yukuhasi.catholic.ne.jp/)

【ブログ】

<http://micheleyam.exblog.jp>

グレゴリオ聖歌入門

ドム・ダニエル・ソルニエ著
渡辺 宏子 訳

19世紀、グレゴリオ聖歌の復興をはたしたベネディクト会ソレム修道院の元合唱長であり、現在教皇庁立宗教音楽大学のグレゴリアンの教授ドム・ソルニエのグレゴリオ聖歌による入門書。

A 5変型判 136頁 定価 1,365円

グレゴリオ聖歌選集

十枝 正子 編著
CD付 (29曲)

グレゴリオ聖歌は千年以上にわたりローマ・カトリック教会の祭儀で歌われてきた公式の典礼聖歌である。一般愛好家や初心者のために歌唱に必要な理論を付記したものである。

A 5判 264頁 定価 2,625円



サンパウロ

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-21-9
TEL 03-3359-0451 FAX 03-3351-9534

www.sanpaolo.or.jp
suishin@sanpaolo.or.jp

お求めはお近くの書店で